



# 今月の大槌びと

## 道又 譲さん (32歳・道又商事取締役)

新聞店とビジネスホテルを営む道又さん。祖父との思い出が残る大槌の町で、ずっと仕事をしていきたいと話します。

**初めはやっていいけるか不安  
今はこの町が大好き**

道又さんは盛岡市で生まれ育ったんですね？

**道又さん(以下道)**—はい、父の仕事の関係もあり、盛岡市生まれの盛岡市育ちですが、縁あって大槌で、祖父が始めた新聞店とビジネスホテルの仕事をしています。

大槌にはどんな思い出がありますか？

**道**—いわゆる田舎のおじいちゃん家という存在で、夏休みなどに遊びに来て、花火をしたり、海に行ったり、マストに行ったりしたのが思い出です。

大槌にくることを決めた時はどんな気持ちでしたか？

**道**—初めはやっていいけるか正直不安でした。育った町で

はないので。でも、少し町を離れた時に「大槌に帰りたいなあ」って思ってたんですよ。その時、自分の中にちゃんと大槌があるんだと感じました。今は大槌が大好きと胸を張って言えます。

**大槌にずっといると決めた  
だからやりたい事だらけ**

この町でやりたいことは何ですか？

**道**—今は、特に新聞店に熱を持っています。最初はあまり魅力を感じていなかったこの仕事を、今では独自の商売として、前向きにやっていきたいと考えるようになりました。地域に根ざした新聞店にしたいと思っています。

**道**—一方でホテル業としては、外から人を呼ぶ性質を持

つ仕事なので、町外から仕事や観光に来る方々の拠点として、町にも貢献できればと思っています。

**道**—それから個人的には、いち町民として、行事などに参加していきたいです。こちらにきてだいぶ知り合いも増えましたし、これからは伝統行事や文化の面に、率先して飛び込んでいけたらと考えています。とにかく、ずっと大槌にいたいと考えてる様になつてから、やりたい事だらけです。外から来た私の目からか

ら見ても、大槌は暮らしやすいし、若い人もいるし、色々な可能性を感じます。今の新聞店を礎に、色々な事業を考えてやっていきたいです。



12月号 大槌高校の皆さん

1月号 道又 譲さん

**道又さん(以下道)**—いきなりですが、僕は道又じゃないところで育った人間なので、みなさんが思う大槌高校らしき大槌の子どもらしさってどこですか？

**道**—それは他の子には無い貴重な経験ですね。普段の生活環境を見ても思うけれど、魚に限らず、自然など、地域にあるものを受け入れて暮らしているなとすごく感じます。そういうのは将来絶対役に立つと思いますよ。

**大**—方言で苦労することはありますか？学校でも大槌以外の子などは、話が聞き取れないことがあって。

**道**—よくあります。従業員さんに鍛えられています(笑)僕は商売をする人間ですが、高校生の目線で、大槌にどんなものがあればいいですか？

**大**—カラオケなどが大槌にもできれば嬉しいです。あと、おしゃっちは使いやすくてみんなに人気があります。

**道**—なるほど。僕ら事業者が、みなさんの世代の意見を聞ける機会は少ないので、これを機に何か思いついたら教えてください。**大**—ぜひ！必要なら生徒会でアンケートもとりまします！(笑)

